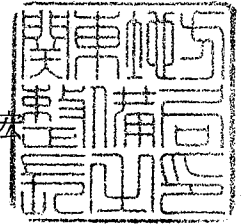




国関整企画第190号
平成30年2月22日

横浜市長
林 文子 様

国土交通省関東地方整備局長
泊 本



直轄事業の事業計画等（横浜市関連分）について（通知）

平素から国土交通省直轄事業の推進にあたり、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当地方整備局における平成30年度政府予算案における平成30年度事業計画等
[予定]のうち、横浜市関連分について、別添のとおりお知らせいたします。

（事業計画等は現時点における予定であり、今後の変更があり得ます。）

事務担当：（全 般） 企画部 企画課 企画第一係
（道 路） 道路部 道路計画第一課 計画第一係
（港湾・空港） 港湾空港部 港湾管理課 管理第一係

平成30年度 横浜市における事業計画(H30年2月)(道路関係〔直轄〕)

改築事業(幹線道路ネットワーク整備) (単位:百万円)

路線名	箇所名	事業規模	全体事業費 (億円)	H29年度当初		H29年度事業内容	H30年度予定事業内容	H30年度事業進捗見込み	備 考
				事業費	負担金				
国道468号	首都圏中央連絡自動車道(金沢～戸塚)	L=8.9km	4,720	10,520	3,507	・調査設計 ・用地買収 ・橋梁上下部工、改良工	・調査設計 ・用地買収 ・橋梁上下部工、改良工	開通必要額 140～156億円程度	事業規模、全体事業費は、神奈川県区間を含む 釜利谷JCT～(仮称)戸塚IC L=8.9km(6/6) 平成32年度開通予定 ※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合
国道468号	首都圏中央連絡自動車道(横浜湘南道路)	L=7.5km	2,600	4,145	1,382	・調査設計 ・用地補償 ・トンネル工、トンネル立坑、橋梁下部工、改良工	・調査設計 ・用地補償 ・トンネル工、トンネル立坑、橋梁下部工、改良工	開通必要額 75～84億円程度	事業規模、全体事業費は、神奈川県区間を含む (仮称)栄IC・JCT～藤沢IC L=7.5km(4/4) 平成32年度開通予定 ※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合
国道246号	都筑青葉地区環境整備	L=4.5km	550	130	43	・調査設計 ・用地買収 ・電線共同溝工	・〈調査設計〉 ・〈電線共同溝工〉、〈改良工〉	～1億円程度	横浜市青葉区 L=2.0km(4/4) 開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定
国道357号	東京湾岸道路(神奈川県区間)	L=35.1km	2,960	180	60	・調査設計 ・用地補償 ・改良工	・〈調査設計〉	～2億円程度	事業規模、全体事業費は、神奈川県区間、川崎市区間を含む 横浜市鶴見区～金沢区 L=21.1km(4/4,6/6) 開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定
計				14,975	4,992				残事業費:約2,237億円

(注)合計は四捨五入の関係で合致していない場合がある
(注)H30年度予定事業内容のうち〈 〉書きは、上限値に近い事業費を配分する場合に実施するものである
(注)備考欄の残事業費は、平成29年度補正投入時点である
(注)備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある
(注)今後、新規事業箇所を追加する場合がある

平成30年度 横浜市における事業計画(H30年2月)(道路関係〔直轄〕)

改築事業(防災対策等) (単位:百万円)

路線名	箇所名	事業規模	全体事業費 (億円)	H29年度当初		H29年度事業内容	H30年度予定事業内容	H30年度事業進捗見込み	備 考
				事業費	負担金				
国道16号	神奈川16号環境対策	L=72.2km	-	130	43	・調査設計 ・環境対策工	・〈調査設計〉 ・環境対策工	2～3億円程度	事業規模は、神奈川県区間、相模原市区間を含む
国道1号	神奈川湘南1号環境対策	L=6.0km	-	45	15	・調査設計 ・環境対策工	・〈調査設計〉 ・環境対策工		事業規模は、神奈川県区間を含む
計				175	58				

(注)合計は四捨五入の関係で合致していない場合がある
(注)H30年度予定事業内容のうちくゝ書きは、上限値に近い事業費を配分する場合に実施するものである
(注)備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある
(注)今後、新規事業箇所を追加する場合がある

平成30年度 横浜市における事業計画（H30年2月）（道路関係〔直轄〕）

（単位：百万円）

箇所名等		事業規模	全体事業費 （億円）	H29年度当初		H29年度事業内容	H30年度予定事業内容	H30年度事業進捗見込み	備考
				事業費	負担金				
交通安全事業 （Ⅰ種）	国道1号 国道15号 国道16号 国道246号	—	—	561	187	調査設計、工事	調査設計、工事	4～14億円程度	
交通安全事業 （Ⅱ種）	国道1号 国道15号 国道16号 国道246号 国道357号	—	—	478	239	防護柵、道路標識、区画線、情報提供機器	道路標識、区画線、情報提供機器		
共同溝事業	—	—	—	—	—	—	—		—
電線共同溝事業	国道16号 国道357号	L=7.2km	55	1,104	552	調査設計、支障物移設補償、本体工事、 引込管等工事	調査設計、支障物移設補償、本体工事、 引込管等工事、路面復旧工事		
合 計				2,143	978				

（注）合計は四捨五入の関係で合致していない場合がある。

（注）今後、新規事業箇所を追加する場合がある。

港湾関係事業30年度予算 事業計画通知(H30年2月)

【港湾整備事業】

港名	プロジェクト名	全体事業費 (億円)	平成29年度当初 (百万円)		平成29年度 事業内容	平成30年度予定 事業内容 (注)	平成30年度 事業進捗見込 (注)	備考
			負担基本額	負担額				
横浜港	横浜港大黒ふ頭地区ふ頭再編 改良事業	89	1,300	585	岸壁(-12m)	岸壁(-12m)、泊地(-12m)、 航路・泊地(-12m)	22 ～ 25億円程度	H30年代前半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境が 整った段階で確定予定
横浜港	横浜港南本牧～本牧ふ頭地区 臨港道路整備事業	1,193	99	33	道路	道路	- ～ 1億円程度	H30年代後半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境が 整った段階で確定予定
横浜港	横浜港南本牧ふ頭地区国際海 上コンテナターミナル整備事業	1,536	3,610	1,108	岸壁(-18m)(耐震)、荷さばき地	岸壁(-18m)(耐震)、荷さばき地、 護岸(防波)	29 ～ 79億円程度	H30年代前半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境が 整った段階で確定予定
横浜港	横浜港予防保全事業	91	2,700	840	岸壁(-13m)(改良)等	岸壁(-13m)(改良)	- ～ 1億円程度	H30年代前半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境が 整った段階で確定予定

(注)H30年度予定事業内容及び事業進捗見込については、検討中のものであり、今後変更される可能性があります。

※「事業実施環境」とは、漁業補償の締結、公有水面埋立免許の取得、用地取得の完了、土砂処分場の確保後等といった、事業を進捗させる上で不可欠な環境のことです。

※今後、事業箇所を追加する場合があります。